

【報道関係者各位】

【マーケティング担当者様】

2010年8月9日

株式会社IMJモバイル

東京都目黒区青葉台3-6-28

代表取締役社長 川合 純一

## iPhone サイト及びアプリの利用実態調査 ～サイトとアプリはどちらが利用されているか？～

株式会社アイ・エム・ジェイ（大証ヘラクレス 4305）のグループ会社である株式会社IMJモバイル（本社：東京都目黒区 代表取締役社長：川合 純一）は、「iPhone サイト及びアプリの利用実態調査」を実施いたしました。

調査期間は2010年7月16日～7月17日、有効回答数は618名から得られました。

### 【調査結果概要】

iPhone ユーザーはサイト閲覧とアプリ利用をどのように使い分けしているのかを把握するため調査を実施いたしました。調査結果より、サイトとアプリの利用頻度や利用時間帯では大きな差は見られなかったものの、どちらの方を多く利用しているかと尋ねたところ、年齢が低いほどサイトを、高いほどアプリを多く利用している傾向が見られました。利用しているジャンルは、サイトではポータルサイトやネットショッピング、ネットバンキング、ブログ・掲示板など、アプリではゲーム、ニュース、乗換案内、地図、音楽などが利用されており、ジャンルによって使い分けしている様子が窺えます。

また、サイト閲覧後には「興味を持った」「利用したくなった」「販売店へ出向いた」との回答がアプリに比べ高く、興味喚起や購買促進につながりやすいことがわかりました。一方、アプリ利用後には「Twitter・ブログなどに書いた」「友人・知人に勧めた」「友人・知人と一緒に利用した」との回答がサイトに比べ高く、話題作りやクチコミ促進に効果があると推察できます。

「サイトとアプリではどちらが良いか」というのは一概に言うことはできず、ターゲットの属性やジャンル、目的などを考慮した上で選定する必要があると考えられます。

### 【調査結果のトピック】

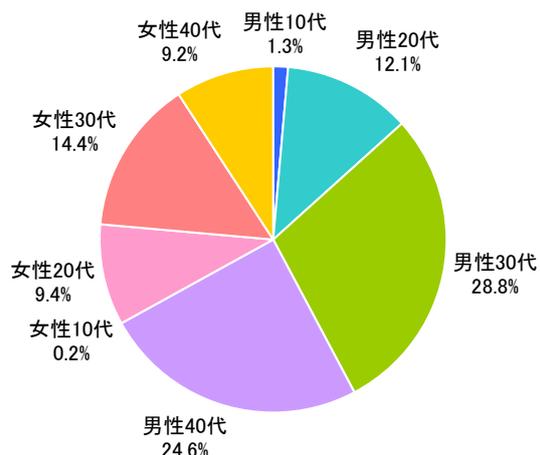
- 年齢が高いほど iPhone 購入時期が早い
- 過半数のユーザーが iPhone のみ 1 台持ち
- サイトとアプリの利用時間、利用時間帯に大きな差なし
- 年齢が低いとサイト派、高いとアプリ派
- サイトではポータル・EC、アプリではゲーム・ニュース
- 興味喚起・購買促進はサイト、クチコミ促進・継続利用はアプリ

**【調査結果詳細】**

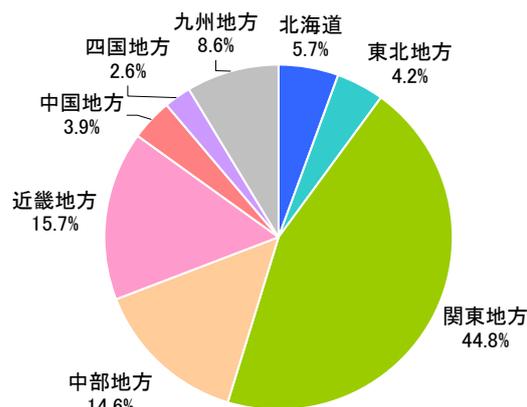
■調査概要

- ・調査方法 : インターネットリサーチ
- ・調査地域 : 全国
- ・調査対象 : 15～49歳のiPhoneを保有している男女 ※調査会社が保有する調査パネル
- ・有効回答数 : 618サンプル
- ・調査日時 : 2010年7月16日～7月17日

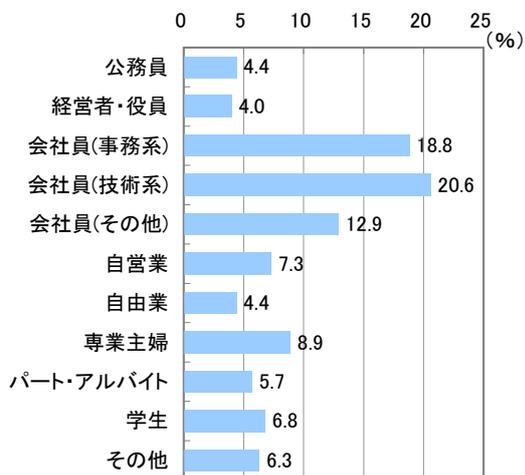
■性年代 (n=618)



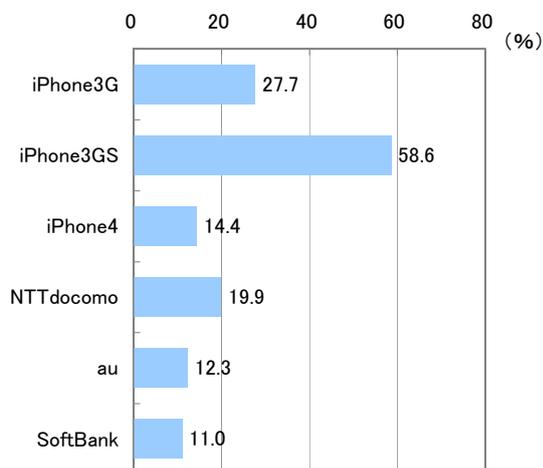
■居住地域 (n=618)



■職業 (n=618)



■保有端末 (n=618) ※複数回答



■年齢が高いほど iPhone 購入時期が早い  
過半数のユーザーが iPhone のみ 1 台持ち

iPhone ユーザーに対し、iPhone を購入した時期を尋ねたところ、iPhone3GS が発売された時期である「2009 年 7～12 月」（30%）がボリュームゾーンとなり、性年代別に見てみると年齢が高いほど購入時期が早いことがわかりました。

また、iPhone 以外の携帯電話を持っているか尋ねたところ、「現在持っている」との回答は 45% となり、iPhone 1 台のみを持っているユーザーが過半数を占める結果となりました。

図 iPhone 購入時期（単一回答）

【n=618】

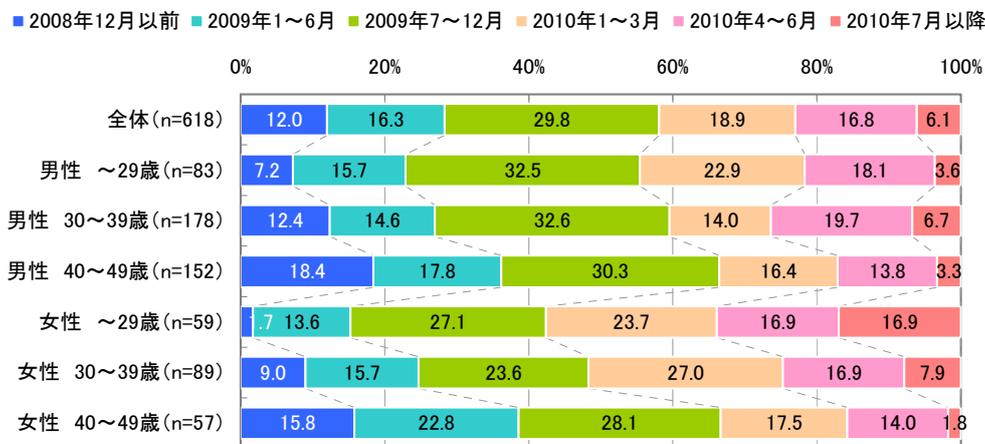
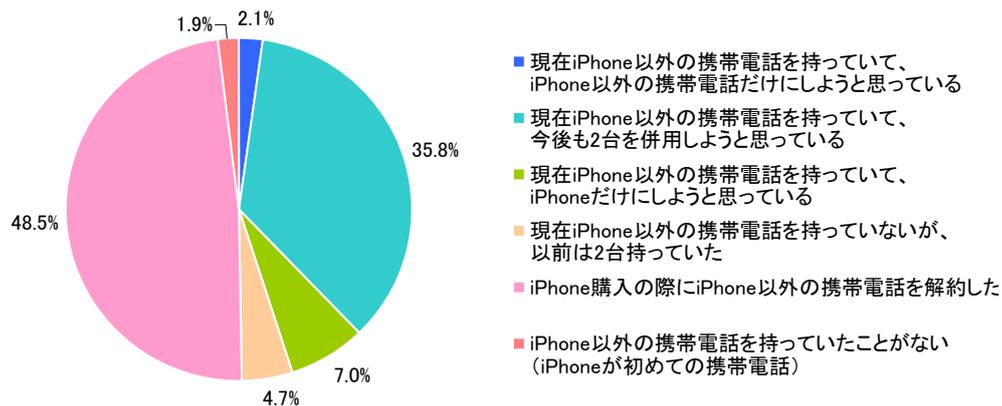


図 iPhone と iPhone 以外の携帯電話との併用状況（単一回答）

【n=618】



## ■ サイトとアプリの利用時間、利用時間帯に大きな差なし

iPhoneでのサイト閲覧、アプリ利用をしている時間を尋ねたところ、サイト閲覧では「30分～1時間未満」(21%)、アプリ利用では「20～30分未満」(22%)がボリュームゾーンとなり、ややサイト閲覧をしている時間の方が長いものの、両者に大きな差は見られませんでした。

また、サイト閲覧、アプリ利用をしている時間帯を尋ねたところ、ともに「自宅でくつろいでいるとき」(サイト：57%、アプリ：61%)が最も高く、次いで「就寝前」(サイト：42%、アプリ：45%)となりました。

図 iPhoneでのサイト閲覧・アプリ利用時間（単一回答）

【n=618】

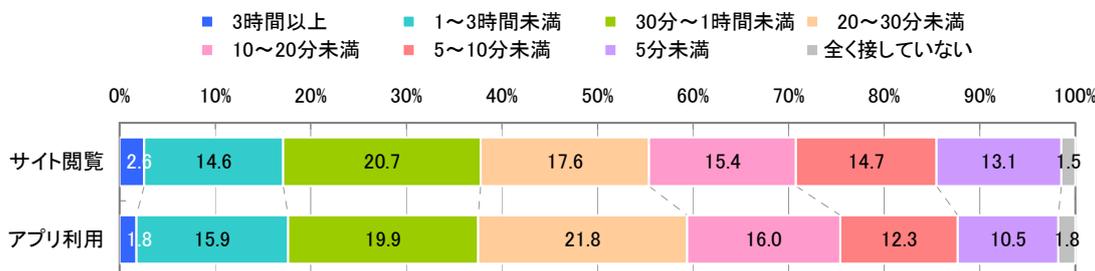
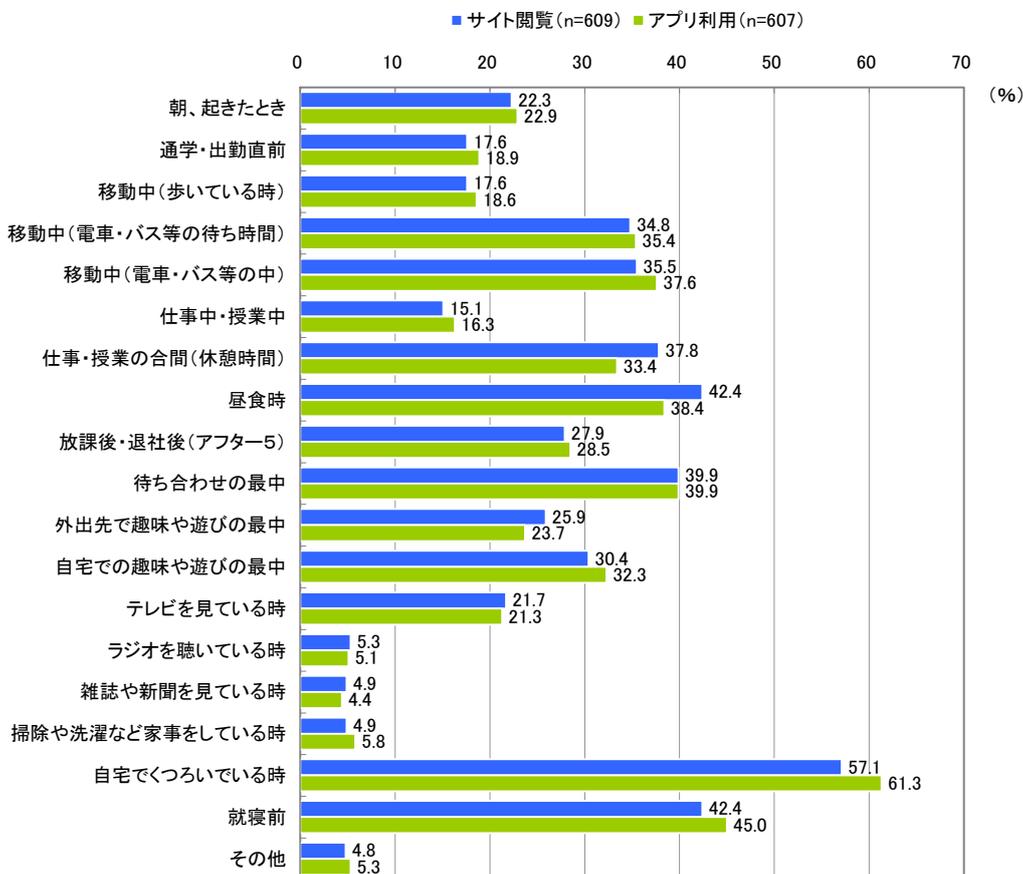


図 iPhoneでのサイト閲覧・アプリ利用時間帯（複数回答）

【※それぞれ利用者】



## ■年齢が低いとサイト派、高いとアプリ派

iPhone ユーザーに対し、サイト閲覧、アプリ利用をそれぞれどのくらいの頻度で行っているかを尋ねたところ、いずれも「1日に5回以上」との回答が半数を超える結果となり、サイトとアプリで大きな差は見られませんでした。

また、サイト閲覧とアプリ利用をどのくらいの割合で行っているか尋ねたところ、サイト派（「主にサイト」「どちらかといえばサイト」）を利用している）とアプリ派（「主にアプリ」「どちらかといえばアプリ」）を利用している）はともに約31%となりました。性年代別に見てみると年齢が低いほどサイト派が、高いほどアプリ派が多くなる傾向が読み取れます。

図1 iPhoneでのサイト閲覧・アプリ利用頻度（単一回答）

【※それぞれ利用者】

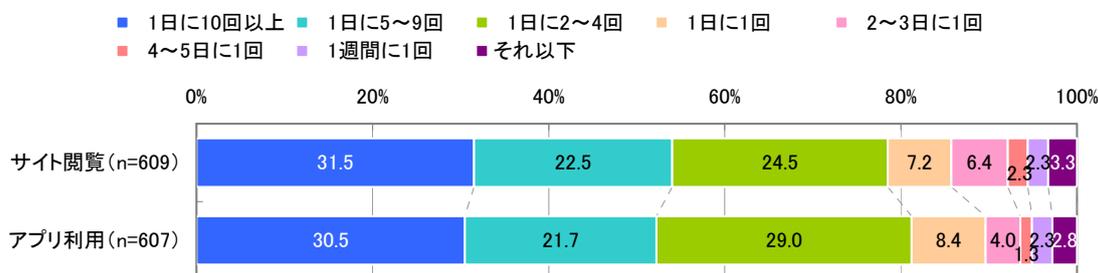
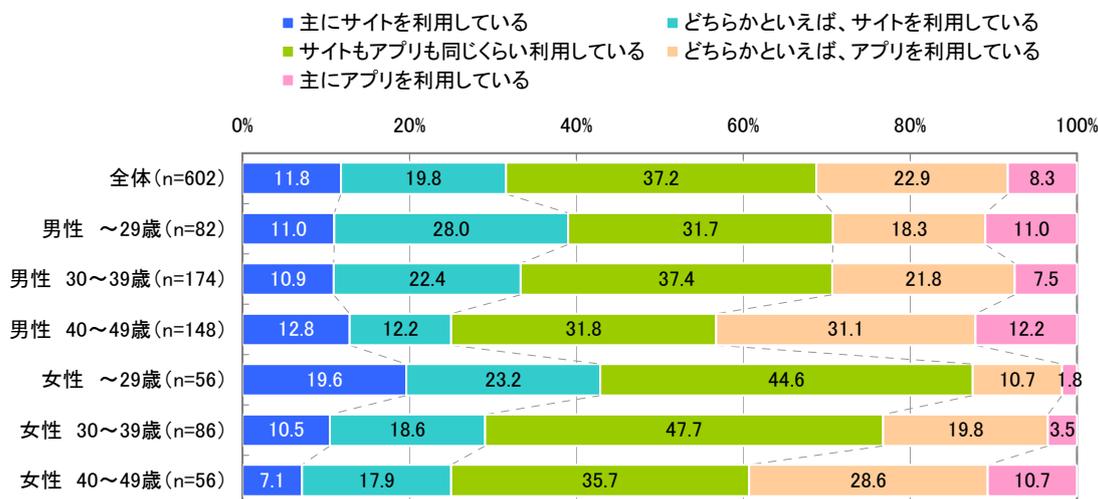


図2 iPhoneでのサイト閲覧とアプリ利用の割合（単一回答）

【n=602※サイト、アプリの両方を利用している人】



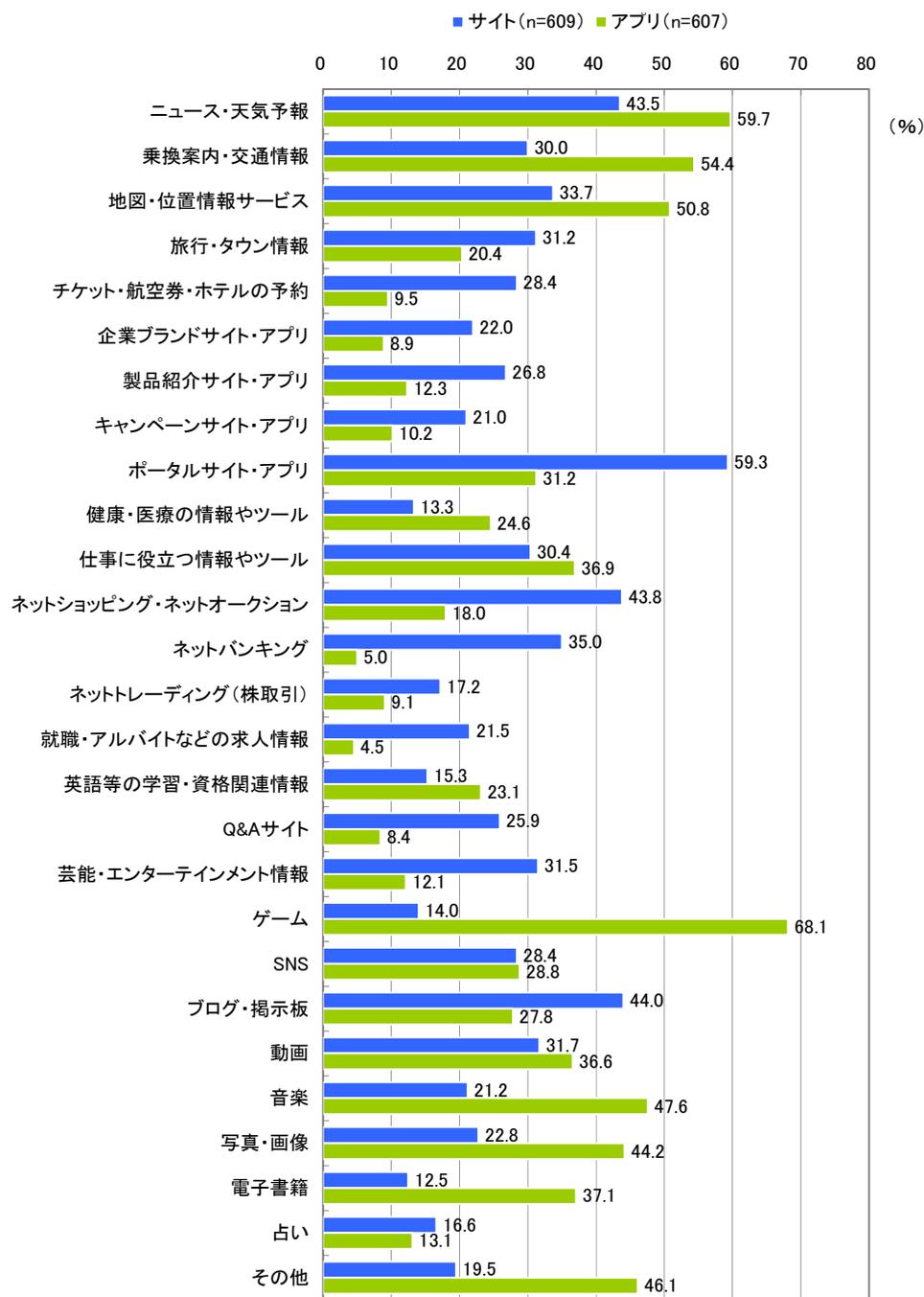
■ サイトではポータルサイト・EC、アプリではゲーム・ニュース

iPhone で閲覧、利用しているサイト、アプリのジャンルを尋ねたところ、サイトでは「ポータルサイト」(59%) が最も高く、次いで「ブログ・掲示板」(44%)、「ネットショッピング、ネットオークション」(44%) となり、アプリでは「ゲーム」(68%) が最も高く、次いで「ニュース・天気予報」(60%)、「乗換案内・交通情報」(54%) となりました。

このことから、ユーザーがジャンルによってサイトとアプリを使い分けている様子が窺えます。

図 iPhone でのサイト閲覧・アプリ利用ジャンル (複数回答)

【※それぞれ利用者】



■興味喚起・購買促進はサイト、クチコミ促進・継続利用はアプリ

iPhone で iPhone 専用サイト、アプリを閲覧、利用した後に経験したことがある行動や感情について尋ねたところ、いずれも「興味を持った」（サイト：21%、アプリ：17%）が最も多くなりました。以下、サイトでは「購入・利用した」（14%）、「購入・利用しなくなった」（14%）、アプリでは「友人・知人に勧めた」（16%）、「購入・利用しなくなった」（13%）が続いています。また、最近1年間で1ヶ月以上継続して閲覧、利用したサイト、アプリはどのくらいあるか尋ねたところ、サイトに比べアプリの方が多結果となりました。

このことから、興味喚起・購買促進はサイト、クチコミ促進・継続利用はアプリの方が期待できると推察されます。

図 iPhone での iPhone 専用サイト閲覧・アプリ利用後の行動、感情（複数回答）

【n=618】

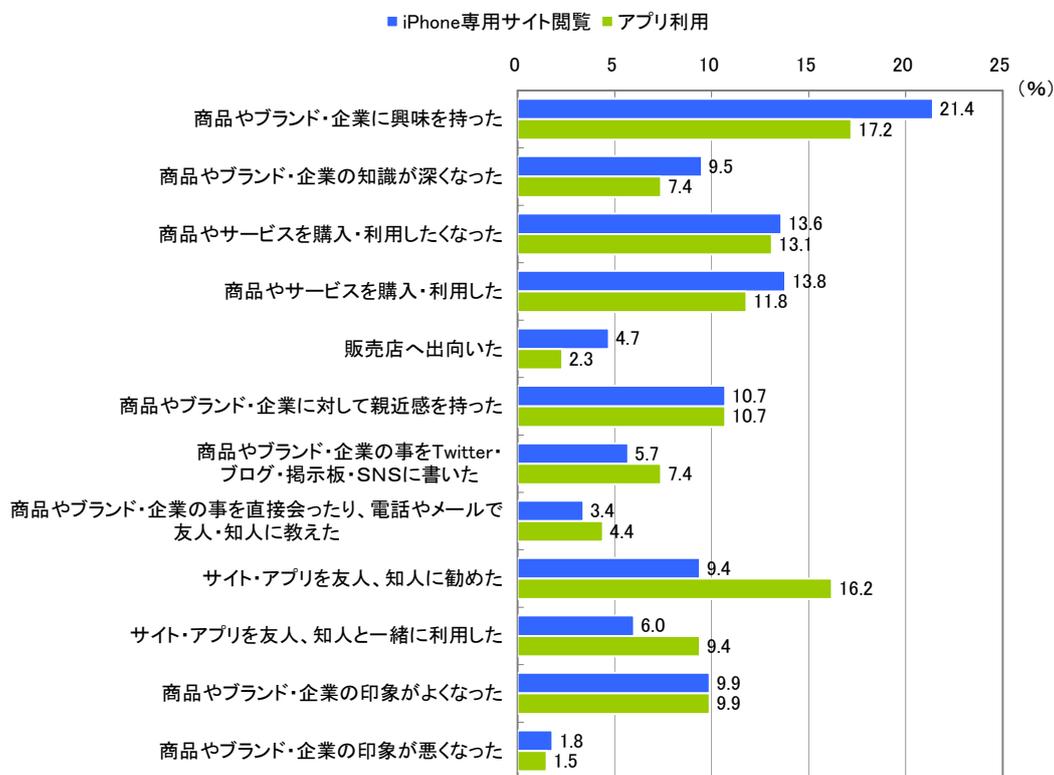
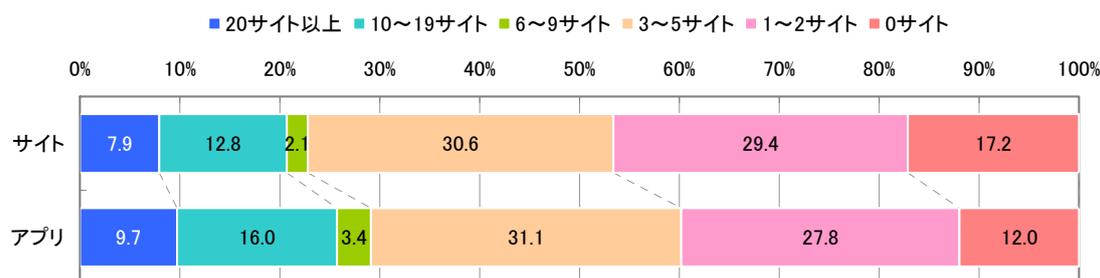


図 最近1年間で1ヶ月以上継続して閲覧・利用したサイト・アプリ数（自由回答）

【n=618】



【株式会社 IMJ モバイル 会社概要】

株式会社アイ・エム・ジェイのグループ企業である IMJ モバイルは、調査分析から戦略立案、ユーザビリティ設計、クリエイティブ、システム開発、運用までのフルサービス&ワンストップサービスを提供しております。国内最大級の実績と経験をベースに、スマートフォンを含めたモバイル領域において、企業のデジタルマーケティングをサポートいたします。

- 社名 株式会社 IMJ モバイル
- 本社 東京都目黒区青葉台 3-6-28 住友不動産青葉台タワー
- URL <http://www.imjmobile.co.jp/>
- 設立 2000年7月18日
- 資本金 3億963万7500円（2010年7月現在）
- 従業員数 約350名（2010年7月現在）
- 事業内容
  - ・携帯公式サイト企画・運営事業
  - ・携帯メディア、広告事業
  - ・携帯サイト構築・運営代行事業
  - ・携帯ソリューション事業、等

<本件に関するお問合せ先>

■調査に関するお問合せ先

株式会社 IMJ モバイル <http://www.imjmobile.co.jp/>  
 マーケティング本部 プランニング室 担当：嶋田  
 TEL：03-6415-4352

■プレスからのお問合せ先

株式会社アイ・エム・ジェイ <http://www.imjp.co.jp/>  
 管理本部 経営推進室 広報グループ  
 TEL：03-6415-4257 E-mail：irpr@imjp.co.jp